

青面金剛像が刻まれた庚申塔

湖南の田辺公民館敷地内の駐車場に石碑が4基あります。左から道祖神、念仏供養塔、庚申塔、そして小型の道祖神です。これらは以前、消防団屯所の所にあった地藏堂が取り壊されたとき一緒に現在地に移動されました。

まず左の道祖神は、だいぶ風化が進んでいて明和7年（1770年）の銘があります。子どもの遊びでできた「こんぼつた」と言われるおわん型のくぼみが台石にたくさん見られます。

小型の念仏供養塔の次に2匹の猿が刻まれているのは青面金剛像です。庚申信仰のご本尊です。青面金剛にはこんな信仰があり

ます。庚申の夜に人が眠りにつくと、三尸という虫が体内から出てきてその人の悪事を天帝に言いつける。それが五百条になったら寿命が尽きてしまう。青面金剛がその虫を押さえ込んで下さるというものです。

庚申塔は文字碑がほとんどで、青面金剛像が刻まれているのは数少ないです。時代が進むとお使いの猿は3匹になり、ご本尊の足元に向き合っていた猿は正面を向き「見ざる、聞かざる、言わざる」

のスタイルになったといえます。一番石は、愛らしい双体道祖神です。「いつの間にか設置された」ということで出所も分かっていま



田辺公民館敷地内の駐車場にある4基の石碑



せんが、大切に祀られています。 随時掲載

詳しい場所などの問い合わせは 諏訪塾事務局（電話070・8323・2107）へ。

- ・ぶらり諏訪塾の冊子は 諏訪市観光案内所（JR上諏訪駅内）
 - ・れすとらん割烹いずみ屋（諏訪市諏訪）
 - ・書店「言事堂」（諏訪市末広）
 - ・すわ大昔情報センター（諏訪市博物館内）
 - ・諏訪書店（通販のみ）
- 57・0997）で販売中です。

今回の筆者

小野川恵美子さん



外国籍住民に日本語学習の支援をするボランティアサークル「諏訪日本語教室」の代表を28年間務めています。

>>> 富士山や 雲に空を映して 遠くまで 雲の羊群が
>>> わたしは 1983年 秋 生まれ
>>> 富士山や 下回りに 雲を 映して 雲の羊群が
>>> 10日に つまみ して 雲を 映して 雲の羊群が